資料３

令和2年度　地域福祉推進協議会の取組について

1　地域福祉推進協議会について

地域福祉推進協議会は、第3期あまがさきし地域福祉計画に基づき、対象者別、制度別に限定されない幅広い福祉課題等を全市的に共有し、課題に対応する施策等を協議することを目的として平成30年3月に設置しました。

主な協議内容としては、6地区の地域福祉ネットワーク会議の内容の共有、各地域での実践や社会資源へのつなぎ、行政の各業務への反映や、各圏域の取組を通じて把握された地域の生活福祉課題に対応する制度の施策化等の意見交換等を行うこととしています。

2　参画団体

（設置要綱　別表順）

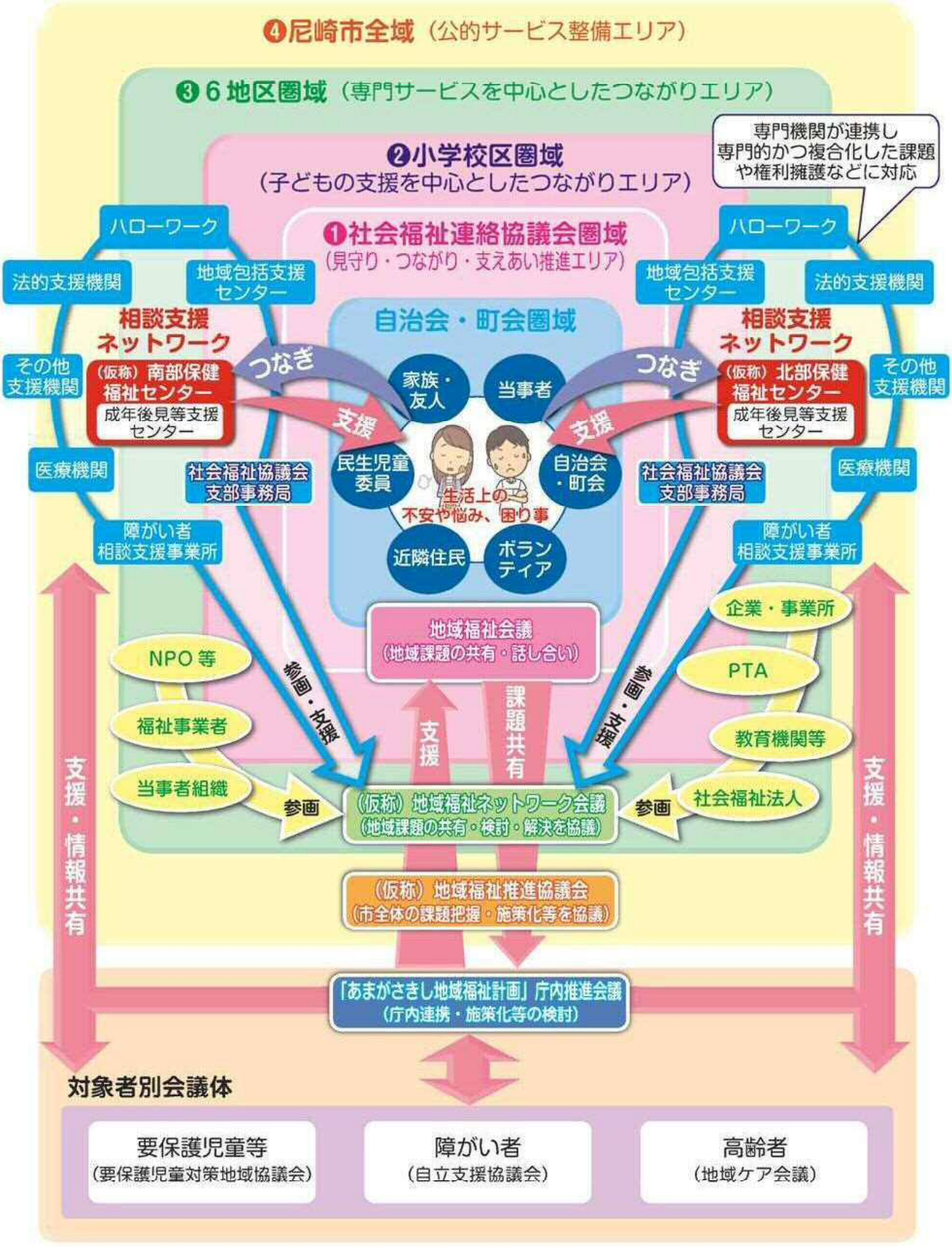
	団体名		団体名
1	ハローワーク尼崎が推薦する者	12	健康福祉局福祉部長
2	尼崎雇用対策協議会が推薦する者	13	健康福祉局福祉部福祉課長
3	兵庫県弁護士会が推薦する者	14	健康福祉局福祉部高齢介護課長
4	尼崎市地域包括支援センター連絡会議が推薦する者	15	健康福祉局福祉部包括支援担当課長
5	尼崎市自立支援協議会が推薦する者	16	健康福祉局北部保健福祉センター 北部福祉相談支援課長
6	尼崎市社会福祉協議会が推薦する者	17	健康福祉局南部保健福祉センター所長
7	尼崎市民生児童委員協議会連合会が推薦する者	18	健康福祉局南部保健福祉センター 南部保護第1担当課長
8	あまがさきし NPO 交流推進ネットワークが推薦する者	19	健康福祉局南部保健福祉センター 南部福祉相談支援課長
9	子ども･子育て支援関係者	20	健康福祉局保健部疾病対策課長
10	尼崎市医療･介護連携協議会が推薦する者	21	こども青少年局子どもの育ち支援センター こども相談支援課長
11	学識経験者	22	都市整備局住宅部住宅政策課長
		23	総合政策局協働部協働推進課長

3　協議内容

会議名称	開催日	主な内容
第1回 地域福祉推進協議会	R2/7/14	⑴　生活困窮者自立支援制度の実施状況について ⑵　地域福祉ネットワーク会議の状況について ⑶　新型コロナウイルスによる各団体の活動状況について ⑷　検討ﾁｰﾑの取組状況 ①　地域福祉活動方策検討ﾁｰﾑ（我がことﾁｰﾑ） ②　複合的な課題を抱える事例検討ﾁｰﾑ（丸ごとﾁｰﾑ） ⑸　地域資源システムについて
第1回我がことチーム	R2/10/12	⑴　令和元年度地域福祉活動推進方策等検討チーム実施状況報告について ⑵　令和2年度　地域福祉活動推進方策等検討チームの取り組みについて ①　地域ごとの取組の必要性について ②　活動につなげる仕組みについて
第2回 地域福祉推進協議会	R3/1/28	⑴　生活困窮者自立支援制度の実施状況について ⑵　地域福祉ネットワーク会議の状況及び課題への対応について ①　地域で多様な活動を拡げようとした際の場所の確保 ②　支援を拒否する事例における対応方法 ⑶　検討ﾁｰﾑの取組状況 ①　複合的な課題を抱える事例検討ﾁｰﾑ（丸ごとﾁｰﾑ） ②　地域福祉活動方策検討ﾁｰﾑ（我がことﾁｰﾑ）

以上

（別紙）　第３期「あまがさきし地域福祉計画」抜粋（本編 P51，概要版 P10）



地域福祉活動推進方策等検討チーム（我がことチーム）実施状況について

1 委員構成

	所属	氏名		所属	氏名
1	災害対策課	馬淵　勉	5	障害福祉政策担当	富田　憲幸
2	協働推進課	西田　真弓	6	南部福祉相談支援課	作田　宏茂
3	生涯、学習！推進課	大前　仁哉	7	疾病対策課	榎並　隆喜
4	福祉課	髙橋　健二	8	市社会福祉協議会	大原　憲二

2 令和2年度の我がことチームの検討内容について

令和2年 10 月 12 日に検討チームを開催。引き続き、市民一人ひとりに生活福祉課題を我が事として考えるきっかけづくりとして、高齢者や障害者などの要配慮者と地域住民との顔の見える関係づくりにつながる「災害時要援護者支援」をテーマとするとともに、令和元年度の取り組みの課題を踏まえ、次のとおり取り組みを進めることとした。

前年度の課題	対応方法
① 住民に身近な6地区ごとの情報発信	地域課及び社会福祉協議会と連携した ① 各地区生涯学習プラザを中心とした周知啓発の実施
② 地域福祉活動につなげるための仕組みづくり	② 重点エリアを設定し、そのエリアの住民に対しての活動参加への働きかけ
③ 地域の様々な活動の周知方法	みんなの尼崎大学のコンテンツと連携した情報発信

3 令和2年度の取組について

⑴ 住民に身近な 6 地区ごとの情報発信及び地域福祉活動につなげるための仕組みづくり

地区	取り組みの概要
中央	令和元年度に実施した生涯学習部会の公開講座としての実施を視野に入れており、現在、コロナ禍での実施方法について現在検討中。
小田	難病連と共催している防災フォーラム（別紙参照）を令和 2 年 12 月に小田南生涯学習プラザで実施予定とし、小田地域課及び社協小田支部と協力して、地域の働きかけも予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により延期。実施時期は調整中
大庄	旧コープ大庄建物を活用し、地域のつどい場を実施している「大庄元気むら（※）」と地域での活動を希望する県立尼崎西高校をつなげ、地域における防災をテーマとした事業を 2 月に予定していたが、コロナの影響により実施時期を延期。 ※ 大庄元気むら…コープこうべと地域住民が、地域で気軽に相談ができ、新しい活動が生まれ、多世代に広がる場所づくりを目指している活動
立花	・ 立花地域課において、ひかり学級（視覚障害者の教養・生活文化・レクリエーションなどの学びの場及び交流の場としてのふれあい学級事業）で 11 月 5 日にインクルーシブ講座「みんなのぼうさい（講師：関西大学近藤准教授）」を開催。 ・ 連続講座として、3月に立花地域課、福祉課、社協立花支部で防災をテーマとしたセミナーの実施を予定。そのセミナー開催に合わせて、見守り活動が行われていないエリアの住民に対し、ポスティングによるセミナー案内を行い、セミナー参加者に向けた活動への参加の働きかけを行う。

地区	取り組みの概要
武庫	・ 武庫地区地域振興連携推進会議生涯学習部会の事業として地域包括支援センターや障害者支援施設と地域が協力しながら災害時要援護者支援に取り組む機運を高めるための防災セミナーを2月に予定していたが、コロナの影響により実施時期を延期。 ・ 実施に際しては、町会が休会となっている地域にセミナー案内及び市社協の支え合い活動センター「むすぶ」の案内をポスティングすることで、セミナー参加者を実際の活動につなげるための働きかけを予定していた。
園田	園田地域では、R3年度新たに生涯学習プラザが供用開始となるため、指定避難場所になるにあたり防災に関する学習会等を検討中。

⑵ 住民に身近な 6 地区ごとの情報発信及び地域福祉活動につなげるための仕組みづくり

下記のみんなの尼崎大学のポータルサイトの「学生生活」のページに、学生と市民活動団体が協働して地域づくりに取り組む事業を掲載するとともに、Facebook での情報発信も行い、広く周知をおこなった。

第24回 尼難連講演交流会

無料
・要約筆記
あり

要援護者災害支援シンポジウム No.6

みんなのぼうさい

支え合い、学び合いの輪を広げよう

12月5日(土) 13:30～16:30 (受付)13:00
(会場)小田南生涯学習プラザ(3Fホール)

第1部 基調講演

「防災福祉力」の向上を目指して
～尼崎調査から見えてきた現状と課題～

講師　関西大学社会安全学部
准教授　近藤　誠司　氏

元NHKディレクターとして災害報道に従事。人と防災未来センター・リサーチフェロー
日本で唯一の「災害ジャーナリズム論」のゼミを開催。各地で災害情報・防災教育に関わる
アクションリサーチを実施し、防災のまちづくり大賞で消防長官賞を受賞
「ぼうさい甲子園」2019・2018年度の2年連続で最優秀賞受賞(2019年度はグランプリ)

第2部 防災リレートーク

「きっともっとよくなる、尼崎の防災福祉
～みんなが手をとりむすぶために～」

司会・進行　関西大学社会安全学部　近藤　誠司　氏
パネラー　障害当事者団体・高齢者団体関係者、行政職員

【申し込み(先着順)】 ※ 取得した個人情報は、当事業実施に係る目的以外には使用いたしません。

○ 電話
令和2年11月6日(金)～11月25日(水)の間に、参加者のお名前、電話番号をお伝えください。
尼崎市コールセンター　電話 06-6375-5639
(受付時間) 平日:午前8時30分～午後7時　土曜、日曜日、祝日:午前9時～午後5時

○ FAX
裏面の「申し込み書」にご記入の上、FAX 06-4869-3049(尼崎市疾病対策課)まで

【留意・注意事項】
○ 参加者にはマスク着用、体温検査(非接触型体温計)、手指の消毒の協力をお願いしています。
○ 参加者数は先着順で70名に限定しています。
○ 新型コロナ感染症により開催が困難な場合は、11月27日(金)に参加希望者には連絡いたします。その場合は、後日YouTubeで配信を予定。
○ 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

【問合せ先】 尼崎市保健所(疾病対策課)
◎平日　TEL 06-4869-3053　Fax 06-4869-3049
◎土・日祝日　090-4905-3127(難病電話相談)　e-mail：amananren@docomo.ne.jp

(主催) 尼崎市難病団体連絡協議会・尼崎市　(後援) 尼崎市社会福祉協議会・尼崎市医師会

関西大学近藤研究室の調査活動には「尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業」の助成金が活用されています。

12/5　要援護者災害支援シンポジウム参加申込書

FAX:06-4869-3049（尼崎市疾病対策課）まで

取得した個人情報は、当事業実施に係る目的以外には使用いたしません。

お名前	連絡先 （電話、FAX、メール等）	所属団体（任意）

防災×福祉 イベント お知らせ

いつ起きるかわからない災害に備えるためには、自分自身ができることに取り組む「自助」とともに、身近な地域の人同士の助け合いや支え合いの「共助」がとても大切になります。

尼崎市では、「自助」「共助」や地域での支え合いを考えるきっかけとして、各地区の生涯学習プラザを中心に、様々な防災×福祉に関するイベントを予定しています。

● ひかり学級インクルーシブ講座　みんなのぼうさい 災害多発時代を共に乗り切ろう！
【日時・会場】 11月5日(木)10:00～12:00　立花南生涯学習プラザ
【問合せ】 立花地域課　TEL 06-6427-7770　FAX 06-6427-7773

● 第3回あまおだ減災フェス あまおだから発信しよう！ーコロナと共生のなかでの減災の取り組みー
【日時・会場】 11月14日(土)9:30～12:30　兵庫県立尼崎小田高等学校
【問合せ】 兵庫県立尼崎小田高等学校　TEL 06-6488-5335　FAX 06-6488-5337

● 話して元気！学んで知識！　ー地域つながりフェスタ秋（防災クイズあり・高齢者向け）ー
【日時・会場】 11月21日(土)午前の部 10:00～12:00　午後の部 13:30～15:30　小田南生涯学習プラザ
【問合せ】 兵庫県立尼崎小田高等学校　TEL 06-6488-5335　FAX 06-6488-5337

今後も、生涯学習プラザを中心にイベントを予定しています。詳細決まり次第、HP等に掲載します。
・（仮題）防災×福祉セミナー　令和3年2月1日(月)14時～　武庫西生涯学習プラザ　など

丸ごとチーム（複合的な課題を抱える事例検討チーム）の現状報告

■今年度について

個別事例の検討を通じて庁内外の各委員から出た意見を集約し、今後実行していくための案を事務局で２つにまとめた。

案①	案②
当事者の集いを開催。 （集いで出た意見をもとに、新規社会資源等の検討を行う） ※当事者・・・現在ひきこもり中の方だけでなく、過去にひきこもりを経験していた人を含む。	事例検討会議を定例で開催 （本人の同意がない場合は個別支援会議で情報共有を図っていく）

２つの案について、会議のアドバイザーである種智院大学 明石教授へ今後の方向性について確認。
以下のとおり意見を頂く。

案①を広げていく方向で進めたらどうか。
「当事者の集い」に限定せず、 案①のテーマである「当事者と関わる」ことを基本に支援策を考えていくのがよいのではないか。
☞理由：ひきこもり支援を行うにあたり、当事者抜きに話を進めると、行政で考えた支援策と当事者が求めている支援策との間でギャップが生じる可能性がある。当事者が発信する声から求められる支援を考えていく「本人発信支援」として取り組んでいく必要がある。

■今後について

ひきこもり当事者の話を聞くことからスタート。
具体的には、しごと・くらしサポートセンターで相談歴のある、ひきこもり当事者の方にインタビュー形式で話を聞いていく。

＜今後のスケジュール予定＞

1～２月	3～４月	5～６月	7～８月
当事者にインタビューを開始。	インタビューをもとに新たな社会資源に関する素案（たたき台）をまとめる。	素案（たたき台）に関して、当事者に意見を聞きながら、原案を固めていく。	原案について、丸ごとチームで報告。

また、関係課との連携を図るため、ひきこもり支援部会（いくしあ推進課、地域保健課、疾病対策課、福祉相談支援課が出席）においても取り組み内容を報告する。